

小倉貴久子ピアノコンサート（フォルテピアノの世界）  
これまで14年時代の地域で生まれた作品を当時のフォルテピアノで  
堂々と演奏することに挑戦します！

Radio Sanyo  
Festspielhaus

11  
Mitsui Bussan Kaisha

第18回

小倉貴久子

# フォルテピアノ の世界



J.B.シュトライヒャー  
Wien 1845

ポーランドのショパン

～ピアノ協奏曲 第1番 室内楽版～

フォルテピアノ 小倉貴久子

ヴァイオリン 若松夏美、寺内詩織 / ヴィオラ 成田 寛

チェロ 島根朋史 / コントラバス 西澤誠治

ショパン

ピアノ協奏曲 第1番 Op.11 (ドイツ初版1833年に基づく並装五重奏版)

ロンド Op.1、マズルカ風ロンド Op.5、ポロネーズ KKIVa)「別れ」、

ポロネーズ Op.71より、ノクターン (レント・コン・グラン・エスプレッションオーネ)

オギンスキ

マズルカ、ポロネーズ (さらば、祖国よ)



Takako Ogura  
小倉貴久子



ショパン

Frédéric Chopin (1809-1849)



Natsuko Wakamatsu

若松夏美



Shiori Terachi

寺内詩織



Hiroyuki Nariwa

成田 寛



Tomohisa Shimizu

島根朋史



Makoto Nishizawa

西澤誠治

10月6日 火

18:45開演 (18:15開場)

全席指定 4,500円

U-25 2,500円

※U-25は、25歳以下限定のチケットです。  
大塚駅に生体館直ぐからからしの中公園まで3分。  
※未成年者の入場はご遠慮ください。

◎会場

豊洲シビックセンターホール

豊洲1-1-1有明ビル1階（豊洲、都立豊洲公園のすぐ南側）  
有明ビル1Fホール（豊洲、都立豊洲公園のすぐ南側）  
有明ビル1Fホール（豊洲、都立豊洲公園のすぐ南側）  
有明ビル1Fホール（豊洲、都立豊洲公園のすぐ南側）  
<https://www.kitaei.or.jp/>

〔チケット発売・お問い合わせ〕

メロネット・デア・フリーユール（主催）

[melf.kst@plaza.sou.jp](mailto:melf.kst@plaza.sou.jp)

TEL 045-698-1021

<https://melf.kst.com>

〔チケット発売〕

オーブラス <https://orbuss.jp>

小倉貴久子ピアノ協奏曲は  
[melf.kst.com](https://melf.kst.com)



●後援：（一社）全日本ピアノ指導者協会（ピアニナ）  
／東京藝術大学音楽学部同人社

ポーランドへの憧れとともに生きたショパン。パリの華やかなサロンで、たくさんの取り巻きに囲まれていても、ポーランドの家族や友人への思いは、いつも心の奥底に大切にしまわれていました。そんなショパンの作品の演奏に、ポーランドの民族的な音楽を感じます。

もう二度と祖国の地を踏めなくなるウィーンへの脱走直前の夜、1830年10月11日、ワルシャワ国立劇場で、ショパン特別演奏会が開かれました。メインプログラムはピアノ協奏曲第1番。友人フィトゥスへの手紙によると、演奏はうまく行き、会場は満員御礼で、割れんばかりの喝采を受けた、と興奮が伝わってきます。その時に弾いたピアノが現在シュトライトヒャー。ウィーンの名産メーカーでワルシャワでも大人気のピアノでした。ショパンは「ずらりと調子よく弾けたし、シュトライトヒャーのピアノでいっそう際立った感じだった」と伝えています。のちにパリで演奏するグレイホルのことを、「ウィーンのピアノ」と呼ぶなど、シュトライトヒャーはショパンの心の故郷にあるピアノだったのでしよう。

15歳の時に作曲した秋あふるOp.1のロンド。翌年作曲のマズルカ風ロンドOp.5と同年作のはるかなさと甘さが魅力のゴロネーズK.K.IV.5「別れ」。ウィーンから熱病ドヴィカに運った《レント・ゴン・グラン・エスプレッショナー》。ショパンに影響を与えたポーランドの作曲家オギンスキ。そして、ショパンも好んだ室内楽版でのピアノ協奏曲第1番を、シュトライトヒャーのピアノでお聴きいただけます。



小倉貴久子 フォルテピアノ  
Mikiko Ogura

東京藝術大学を経て同大学大学院でピアノ科修了。アメリカネーション音楽院を短期留学修了後、日本オーケストラ連盟コンクールピアノ部門第1位、ブルジョア国際音楽コンクールアンサンブル部門及びピアノピアノ部門で第1位と演奏賞受賞。同位以上リコーネの成績も多く国際音楽祭特選賞に選ばれている。著書に「ピアノの歴史」「ピアノと文化」にもなるゆかりの音楽(音楽史)。文化庁芸術振興ロード部門(受賞)、ミュージック・イベント賞音楽賞、JSTPO音楽賞、千代田区音楽賞受賞。東京藝術大学、東京音楽大学講師、日本オーケストラ連盟アドバイザー。

若松夏美 ヴァイオリン  
Natsumi Wakasumi

桐朋学園大学卒業。サン・ペーテ音楽院音楽院卒業後、ヨーロッパの名門オーケストラのメンバーとして数々の演奏会に参加。帰国後は日本の音楽界を駆け回り、東京芸術大学古楽科講師を務めた。《バッハ・ゴットフリート・ゼンパーン》コンサート・マスター。

寺内詩織 ヴァイオリン  
Shiori Terauchi

桐朋学園大学大学院を経て、東京藝術大学大学院修士課程修了後、日本音楽コンクール、タライスラー国際音楽コンクール等、国内外のコンクールにて活躍。《バッハ・ゴットフリート・ゼンパーン》等のメンバー、桐朋学園大学音楽学部附属女子校のための音楽教育講師。

成田寛 ヴァイオリン  
Hirotaka Narita

《東京フィル》に在籍中。サン・ペーテ音楽院に留学。その後《新日本交響楽団》の首席奏者。現在は《山梨交響楽団》契約首席奏者を務める。《バッハ・ゴットフリート・ゼンパーン》、《オーケストラ・リコーネ・ラ・シカ》などのメンバーも務める。

島根明史 チェロ  
Akira Shimizu

東京藝術大学にて修士号《音楽・チェロ》取得。パリで音楽院を卒業。読・解説・雑誌の書《ジャズ・チェロの歴史とこれからの展開》、《演奏文化》がある。《バッハ・ゴットフリート・ゼンパーン》、《La Musica Cellara》首席・サブディレクター、昭和音楽大学講師。

西澤誠治 コントラバス  
Seiji Nishizawa

東京藝術大学大学院修了。東京シンフォニーを経て東京日本交響楽団に入団、首席奏者も務めた。音楽にも造詣が深く《バッハ・ゴットフリート・ゼンパーン》、《オーケストラ・リコーネ・ラ・シカ》などの契約のコンサート、《ヨーロッパ》にも参加している。

第19回  
予告

モーツァルトのヴァイオリンソナタ  
～愉悅と酒祝～

フォルテピアノ 小倉貴久子 ヴァイオリン 寺神匠



モーツァルト



ヴァルター



寺神匠

W.A.モーツァルト ヴァイオリンソナタ

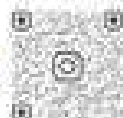
ハ長調 K.303、ホ短調 K.304、変ニ長調 K.376、  
ト長調 K.377、変ロ長調 K.454

モーツァルトの作品は「オペラ的」に描かれますが、ヴァイオリンソナタも、軽やかな登場人物がコメディータッチ。または心の奥深く染み入る感動をもたらすなど、種々なドラマを繰り広げます。国際的にヴァイオリン奏者として、そしてオペラ指揮者としても人気の高い寺神匠と、モーツァルトの魅力に迫ります。

2027年3月10日(水) 18:45 開演  
豊洲シビックセンターホール

第19回公演のチケットは第18回公演(10月8日)のロビーで先行発売!  
先行発売に限り100円引きでチケットをお買い求めいただけます。

メロエット・デア・フリューゲルのInstagram  
instagram.com/indf\_kikoko



091-2382